

平成29年7月27日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 谷 直 樹
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 取締役専務執行役員 河田 喜一郎
(TEL. 052-446-6100)

**旭化成ファーマ株式会社との共同研究におけるマイルストーン達成に伴う
一時金受領のお知らせ**

当社と旭化成ファーマ株式会社（代表取締役社長：柴田 豊、本社：東京都千代田区、以下、「旭化成ファーマ」）は、新規疼痛治療薬の創出を目指した共同研究を実施しておりますが、本日、マイルストーン達成に伴う一時金の受領が確定しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

当社は、平成28年3月に旭化成ファーマと新たな段階の共同研究契約（以下「本契約」）を締結したことを発表しました。両社は新規疼痛治療薬の創出を目指して、特定のイオンチャネル[※]を標的とした創薬研究を推進して参りましたが、本日、旭化成ファーマにより、共同研究成果が本契約に基づいた一定の水準に達したことが認定されました。今回の認定に伴い、当社はマイルストーン達成に伴う一時金を受領し、平成29年12月期の事業収益に計上いたします。なお具体的な達成条件や金額等につきましては、契約上、非開示とさせていただきます。

当社代表取締役社長である谷直樹は「旭化成ファーマ株式会社との共同研究におけるマイルストンの達成を大変嬉しく思います。当社の強みであるイオンチャネル技術を用いて共同研究に貢献することで、次に繋がる研究成果が得られたことを喜ばしく思います。今後も研究開発型スペシャリティファーマである旭化成ファーマ株式会社との協力体制の下、疼痛で苦しむ患者さんに一日でも早く新薬を届けられるよう、両社の優れた研究チームによる本共同研究のさらなる発展を期待しております。」とコメントしております。

両社は今後も本契約に基づいた発展的協業体制を継続し、当社のイオンチャネルに関する技術及び創薬研究全般に関する独自のノウハウと、旭化成ファーマの創薬研究開発におけるノウハウとを合わせ、新薬創出に共同で取り組むとともに、当社は今後のマイルストーン収益の獲得を目指して尽力して参ります。

なお、本件による、平成29年12月期通期業績に対する影響につきましては、平成29年5月11日に公表した平成29年12月期（平成29年1月1日～平成29年12月31日）の通期連結業績予想に織り込み済みであり、変更はありません。

以 上

<ご参考>

【イオンチャネルについて】

イオンチャネルとは、細胞膜上にイオンの通り道を形成する膜貫通型タンパク質の総称です。細胞内外に存在するイオンを透過することによって、膜電位の維持・形成を行います。興奮性細胞では活動電位を発生させ、知覚神経や運動神経における情報の伝達や様々な組織での神経伝達物質の放出を調節しています。このようにイオンチャネルは生体内で重要な役割を果たしています。